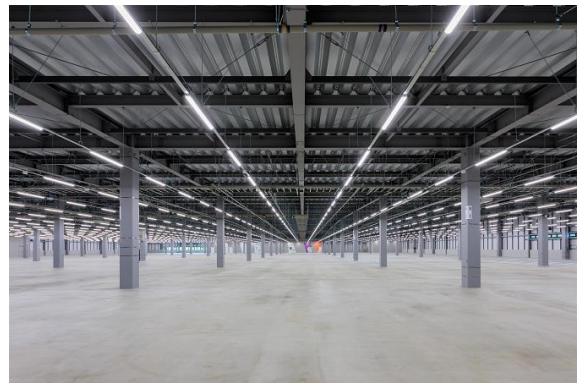


YKK AP 埼玉工場 新建屋での操業開始 首都圏向けビル用アルミ建材の製造供給体制を再編

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、首都圏・東日本エリアへの競争力を強化するビル事業の基幹工場として、かねてより埼玉県美里町に建設を進めておりました埼玉工場の新建屋が5月に完成し、7月31日に操業を開始したことをお知らせいたします。



埼玉工場 新建屋外観



新建屋内観

YKK AP 埼玉工場は、ビル用アルミ建材商品の製造拠点です。2021年に隣接する用地を取得し、新たに工場建屋を増強することで、首都圏を始めとする東日本エリアへの競争力を高めるビル事業の基幹工場として、製造供給体制を再編します。

新建屋では、社内の機械製造部門による合理化設備での集約生産、自動化工程の拡大、データ連動したラインづくりなどのモノづくり改革により、製造コストを従来の25%削減します。また、ユニットロード化（※1）やモーダルシフト（※2）によるロジスティクス改革も含め、発注から納品までのリードタイムを最大11日短縮します。

建物は「働きがいのある工場」をコンセプトに、高断熱外皮や断熱性・換気性に優れた窓、調光照明、高効率空調を採用することで、CO₂排出量を30%削減します。さらに、太陽光発電（発電能力：1時間あたり1,100 kWh）と再生可能エネルギー調達によりCO₂排出実質ゼロを実現するほか、雨水の利用も行い、地球環境や働く人にやさしい工場を目指します。また雇用創出により、地域へ貢献していきます。

本日開催したオープニングセレモニーでは、埼玉県や美里町など地域代表のご来賓やお取引先様をお招きし、新建屋の完成・操業を記念してテープカットと植樹を行いました。

※1：荷物をパレットやコンテナなどのユニット単位で効率的に運ぶ仕組み

※2：トラック等の自動車で行われている貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へ転換すること

【新建屋コンセプト】

・モノづくり改革	製造コスト従来比 25%削減、リードタイム最大 11 日短縮
・ロジスティクス改革	ユニットロード化、モーダルシフトによる配送効率 14%向上
・働きがいのある工場	建物仕様で CO ₂ 排出量 30%削減 太陽光発電と再生可能エネルギー調達により CO ₂ 排出実質ゼロを実現

【新建屋概要】

所在地	埼玉県児玉郡美里町南十条 555-1
設計・施工	株式会社大林組
工期	着工 2022年6月 竣工 2023年5月
操業開始	2023年7月
敷地面積	41,920 m ²
延床面積	23,078 m ²
建屋構造	鉄骨造 2階建
新規従業員数	40名 (2023年度)
投資金額	合計約 58 億円 (内訳：土地 8 億円、建屋 34 億円、設備他 16 億円)

【参考】 YKK AP 埼玉工場の概要

操業開始	1975年9月
敷地面積	82,260 m ² (新建屋敷地含む合計)
延床面積	44,984 m ² (新建屋延床面積含む合計)
工場長	成田 悟
従業員数	333名 (2023年7月31日現在)
製造品目	ビル用アルミ建材